

橘曙覧年譜

年号（西暦）	年齢（数え）	事項
文化9年（1812）	1歳	5月、福井城下に生まれる
文化10年（1813）	2歳	母鶴子死亡。母の実家府中（武生）の山本家に養われる
文政9年（1826）	15歳	父五郎右衛門死亡。南条の妙泰寺で仏門に入ろうするが、まもなく実家へ帰る
文政12年（1829）	18歳	京都の児玉三郎塾に入門する
天保3年（1832）	21歳	三国の酒井清兵衛の次女と結婚する
天保10年（1839）	28歳	家は異母弟の宣に譲る 足羽山 <sup>こがねのや</sup> 黄金舎に隠居
弘化元年（1844）	33歳	飛騨高山田中 <sup>おおひで</sup> 大秀に入門する
弘化2年（1845）	34歳	長男 <sup>いましげ</sup> 今滋出生
嘉永元年（1848）	37歳	黄金舎から三ツ橋に引越し藁屋と称する
安政元年（1854）	43歳	藁屋大火に類焼する
安政5年（1858）	47歳	松平春嶽の命により、万葉集の秀歌三十六首を選び謹慎中の春嶽に贈る
慶応元年（1865）	54歳	松平春嶽、藁屋を訪れる
慶応4年/明治元年 （1868）	57歳	8月28日死亡
明治11年（1878）		長男の今滋により『橘曙覧遺稿 <sup>しのぶのや</sup> 志濃夫 <sup>かしのや</sup> 廼舎歌集』出版
明治32年（1899）		正岡子規が橘曙覧の歌を高く評価する
平成6年（1994）		ビル・クリントン米大統領が、天皇皇后両陛下御訪米の歓迎スピーチで曙覧の歌を引用する

引用：『橘曙覧入門』（平成14年2月1日発行、橘曙覧記念文学館）